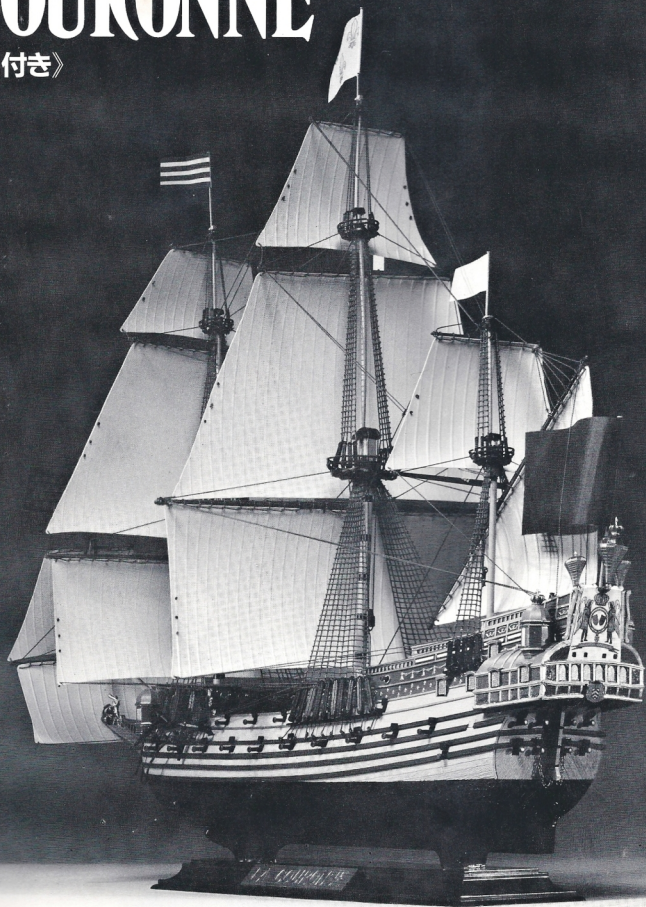


IMAI PLAHOBBY KIT SAILING SHIP SERIES

1/200 SCALE

COURONNE

《帆付き》



＝組立る前に一度説明書を読んで下さい＝

（作業は慎重に）

- 組立に入る前に各部品を説明書の裏の部品図とよく見くらべ点検し、主要部品は必ず確認しておきましょう。
- 組立は、まずパーツをランナーから切りはずすことから始めますが、この作業は必ずニップカ、ハサミを使い、ていねいに切りとって下さい。
- パーツは一度に切りはなさないで、組立に必要な部品のみにし、切った際に余分な部分などをていねいに取りのぞきます。
- 組立に入ってから説明書をよく読み（次に組立る所まで目を通す）仮組をしてみるとか、この箇所はこの段階で塗装しておこうとか見通してたてた上で接着することが大切です。
- 小さな隙間などもパテ等で補修し、接着した合せ目などは、ヤスリ、ナイフ等できれいに取りのぞいておきます。

以上のように説明書をよく読み作業を慎重に行い確実に最後まで組上げて下さい。

※説明文中の□部分は塗装指示です。

名称は一般的用語を使用しております。

＝ローフ張りには次の用具を使用します＝



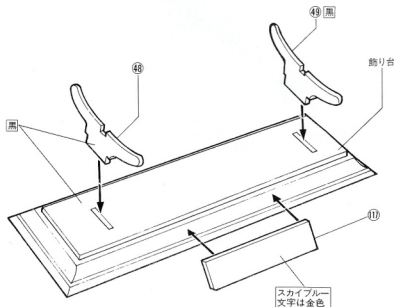
＝塗装には次の塗料を用意します＝

■塗料に5～10%つや消し剤をまぜキツや塗装にすると良いでしょう。

- 金色……………船首部・後部飾り
- 黒色……………アンカー・デッキ・船底
- 赤色……………大砲フタ
- スカイブルー……………船体側面
- ウッドブラウン……………大砲
- ライトブラウン……………甲板・マスト
- ダークウッド(マホガニー)…ヤード

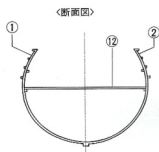
1 《飾り台の組み立て》

- 飾り台に④、⑧、⑩を接着します。

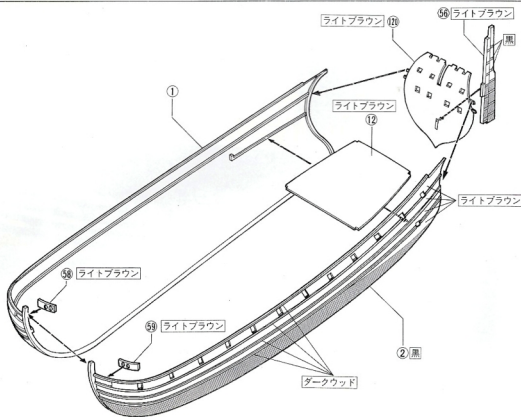


2 《船底の組み立て》

- ⑫をはさんで①、②、③を接着します。
- 船底内側から⑤、⑥を接着します。

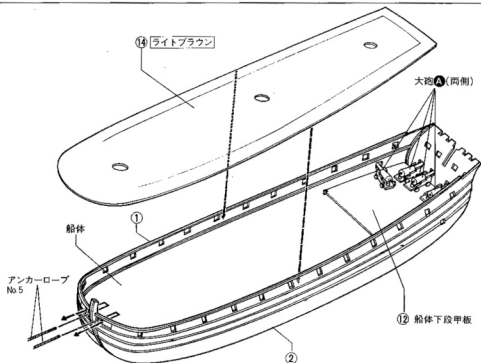
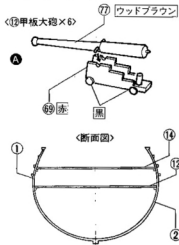


●■—黒色



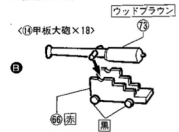
3 (船体の組み立て I)

- 大砲①⑦と⑧を組み立てます。
- 船体に大砲6ヶを接着します。
- 船体に⑨を接着します。
- アンカーロープは5を各(220mm)⑩、⑪の穴に通しておきます。

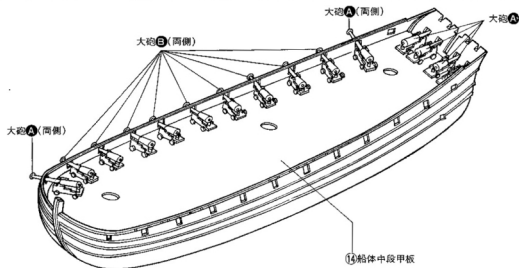


4 (大砲の取り付け)

- 大砲Aを8ヶ大砲B(⑭、⑮)18ヶを⑬甲板に接着します。

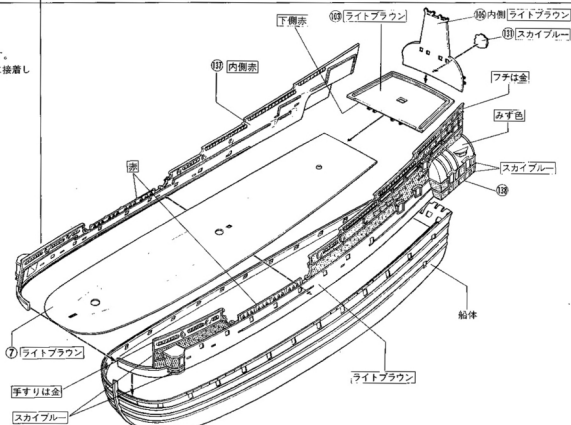


※大砲は左右同じように接着します。



5 (船体の組み立て II)

- 船体に⑫を接着します。
- ⑦をはさみ⑬を船体に接着します。
- ⑭を⑫、⑬、⑭に接着し、⑮を⑭に接着します。

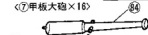


- ⑱ - スカイブルー
- 彫刻は金色

6 〈甲板の組み立て及び 取り付け〉

- 先に大砲を組み立て船体上段大砲を接着します。
- ⑧、⑨を組み立てます。
- ⑩、⑪、⑫を甲板に接着します。No.2ロープ55mmを⑬と⑭、⑮と⑯、⑰と⑱に結びます。

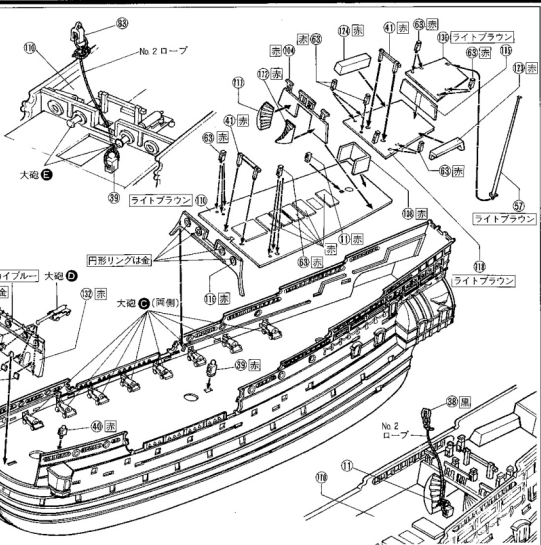
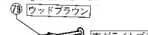
④甲板大砲×16



⑦甲板大砲×4



⑩甲板大砲×2



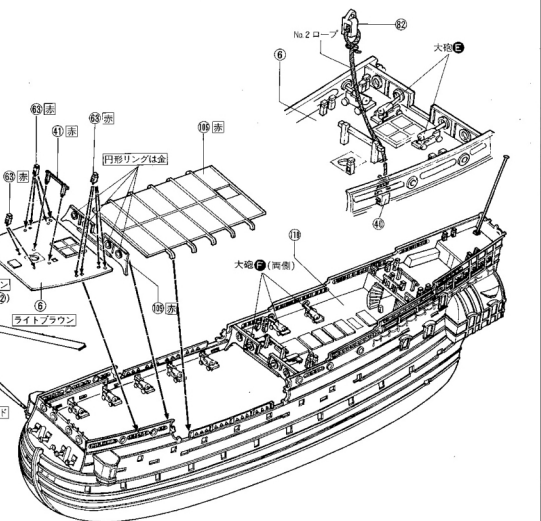
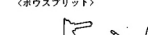
7 〈ボウスピットの取り付け〉

- 同の様に接着します。

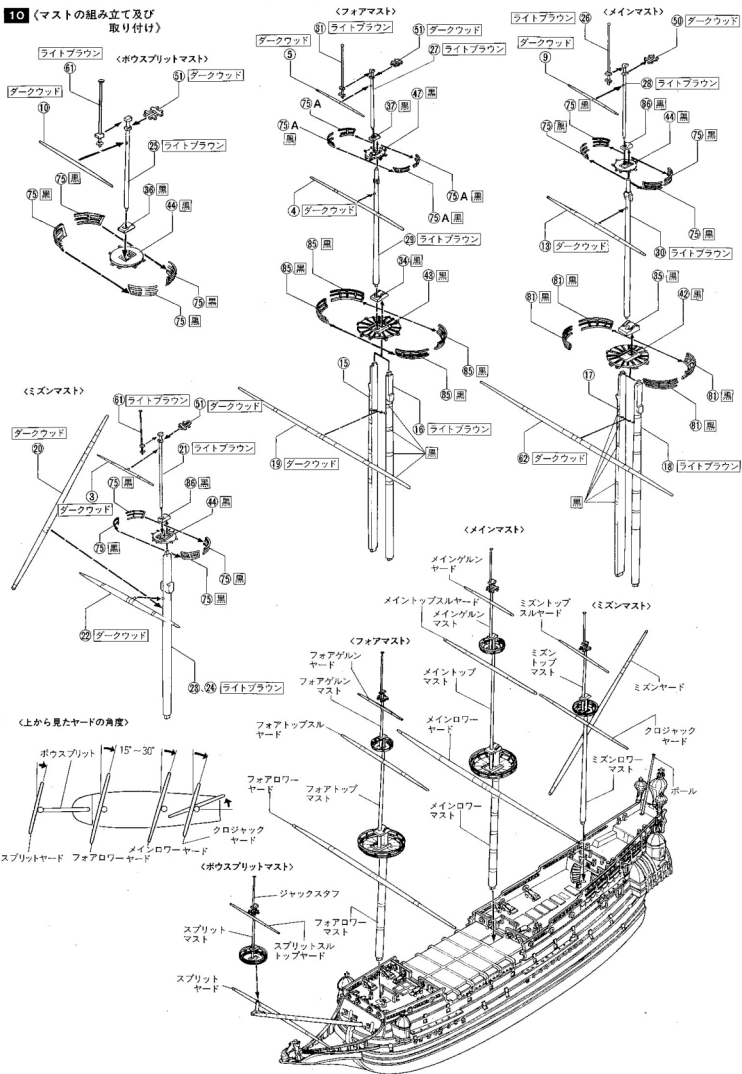
③甲板大砲×6



⑥甲板大砲×2



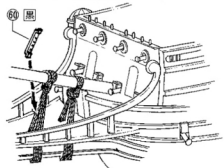
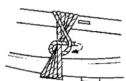
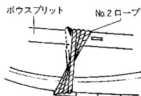
10 (マストの組み立て及び
取り付け)



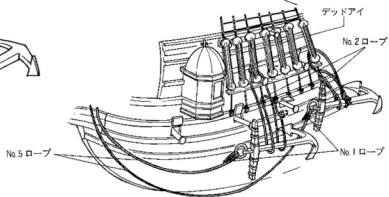
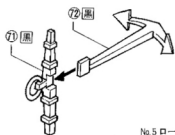
11 〈アンカーの取り付け〉

- ボウスプリットにギヤミングロープ(No.2ロープ)を結びます。
(たてに5回、横3回巻きます)
- アンカーを組み立てます。
- No.5ロープをアンカーのリングに通し、No.1ロープで結びます。
次にNo.2ロープでアンカーを右図の様に固定します。

〈ギヤミングロープ〉



〈アンカー〉



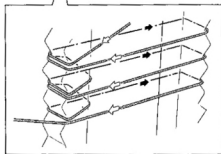
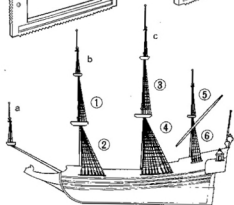
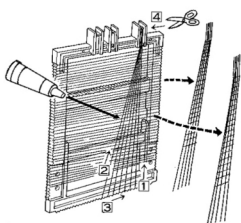
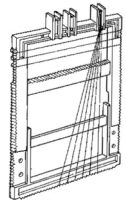
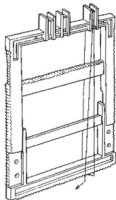
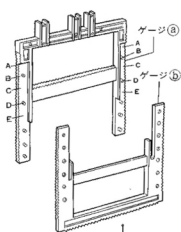
12 〈シュラウドの作り方〉

①図の様にゲージを組みます。

②目もりに従って、No.2ロープをたてに巻きつけます。

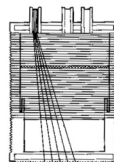
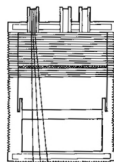
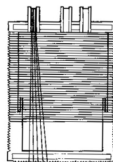
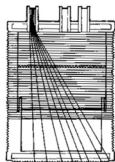
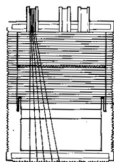
③目もりに従って、No.1ロープを横に巻きつけます。

④巻き終えたら、ホワイトボンドを塗り、完全に乾いたら、①-④の順に切りはなして完成です。



※a・b・cはたてロープだけ取り付けて下さい。

ゲージ段	
A段	⑤
B段	⑥①
C段	④
D段	③
E段	②



① たてロープ 7-10-13-16-19
横ロープ 1-31

② たてロープ 9-14-20-24-28
横ロープ 1-37-40

③ たてロープ 6-9-10-12-14
横ロープ 1-38

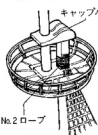
④ たてロープ 10-13-17-20-24
横ロープ 1-42

⑤ たてロープ 8-11-14
横ロープ 1-19

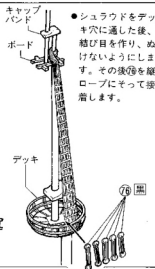
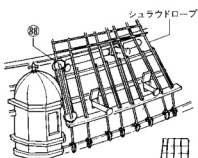
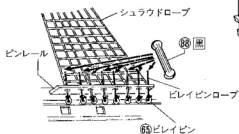
⑥ たてロープ 12-15-18-21-24
横ロープ 1-36

13 〈シュラウド及びリフトの取り付け〉

●シュラウドローブをまとめ、別のNo.2ローブで巻きます。

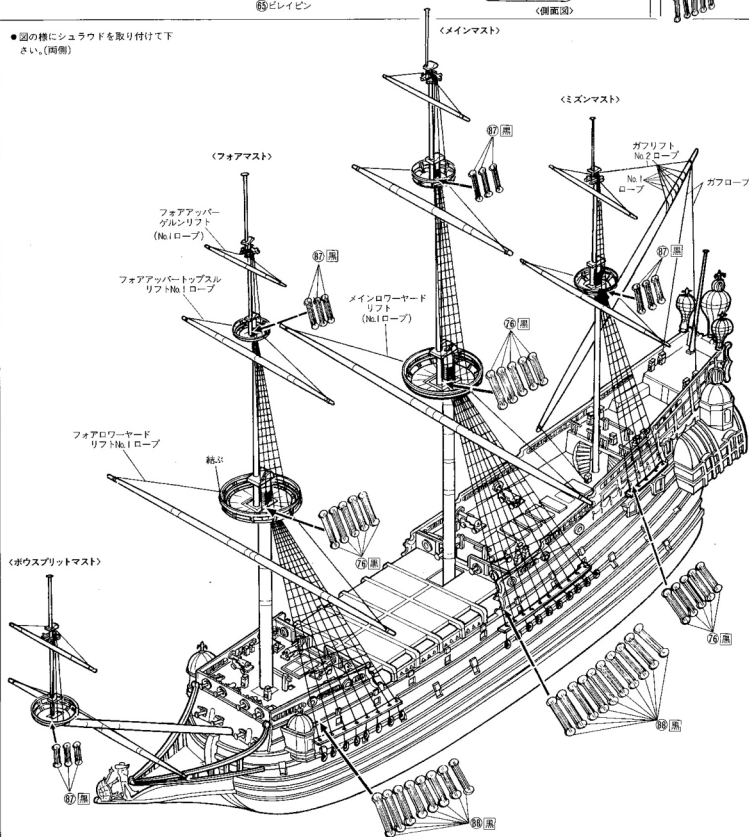


●シュラウドローブの先をピンレール穴に通します。次にビレイピンローブをピンレール穴に通し、シュラウドローブと合わせて接着し、表側から巻を接着します。



●シュラウドをデッキ穴に通した後、結び目を作り、ぬけないようにします。その後巻を扉ローブによって接着します。

●図の様にシュラウドを取り付けて下さい。(両側)

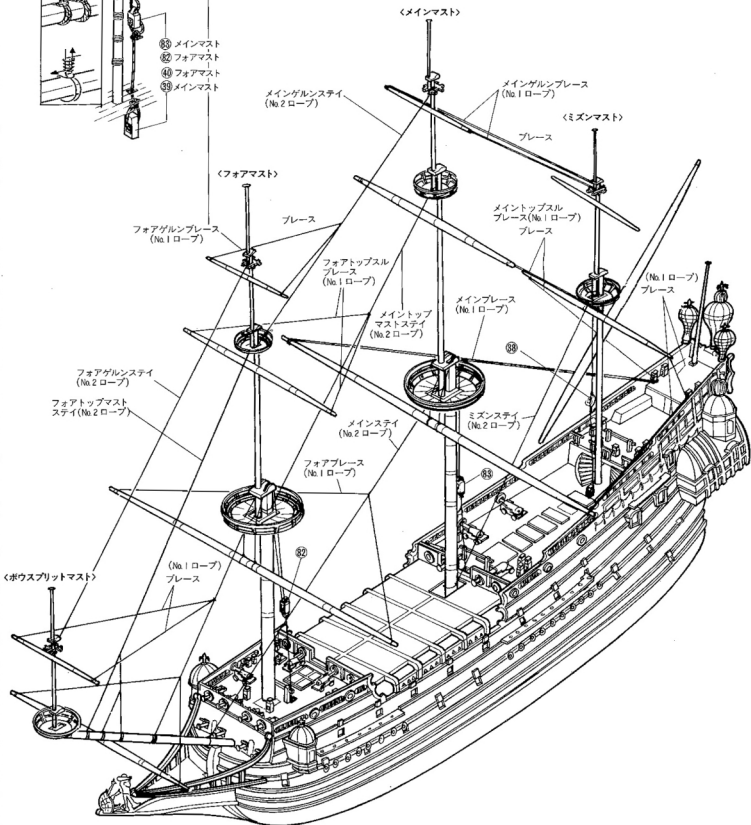
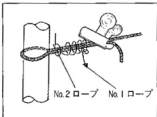
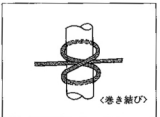
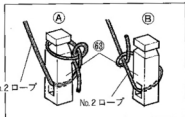
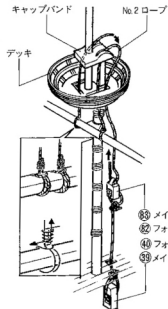


14 《ハリヤード・ステイ及びブレースランナーの取り付け》

●ハリヤードを先に強り次にステイを張り、最後にブレースを張ります。

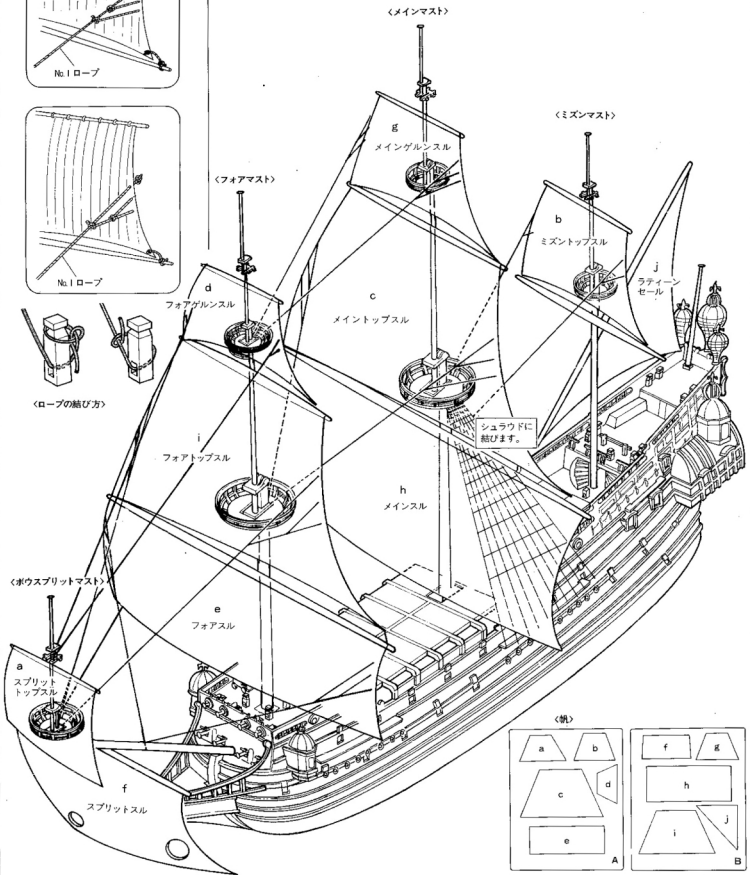
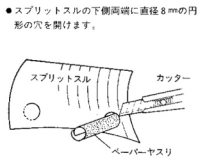
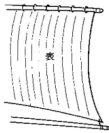
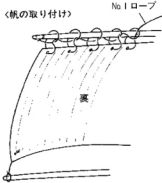
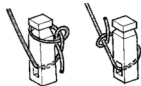
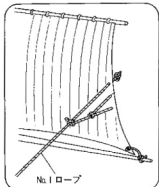
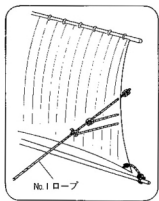
《ロープの結び方》 下図の拡大図を参考にロープを張って下さい。

《ハリヤード》



15 《帆及びボーラインの取り付け》

- 外側面をピンバイス等で穴を開けます。
- No 1 ロープを使用して下図の様に結びます。

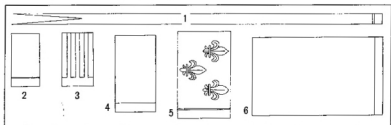


16 〈シートの取り付け〉

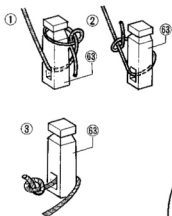
- 図の様にシートラインを結んで下さい。
ここで使うロープはすべてNo.1ロープです。
- これでクローネは完成です。
うまく作れたでしょうか。次にこのクラスの帆船を紹介しますので挑戦してみてください。

- 1/150 日本丸 ¥6,500 (帆付)
- 1/120 カティサーク ¥6,500 (帆付)
- 1/150 フェニックス ¥5,500 (帆付)
- 1/150 ナポレオン ¥6,500 (帆付)
- 1/120 コンステュション ¥6,500 (帆付)

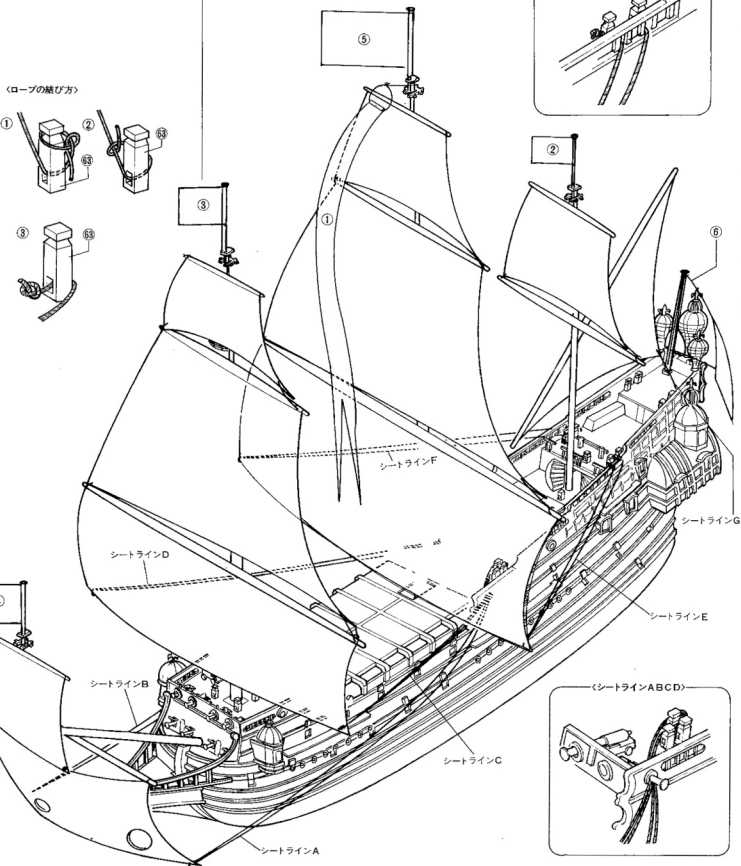
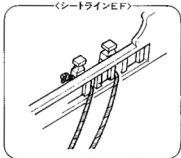
〈旗の取り付け〉 ● 旗はきれいに切り取り図の所に接着または取り付けて下さい。



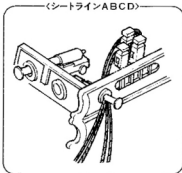
〈ロープの結び方〉



〈シートラインEF〉

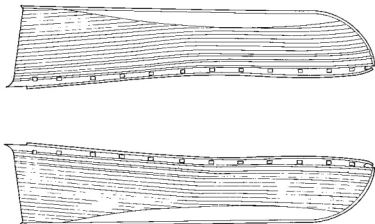


〈シートラインABCD〉

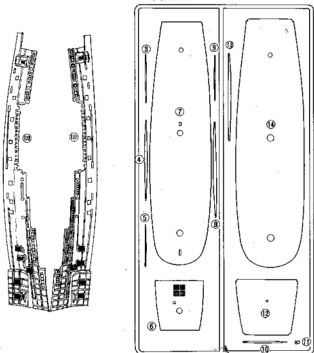


▼部品)

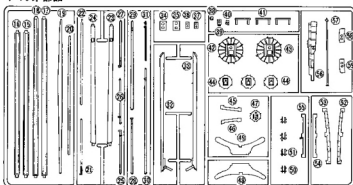
▼船体



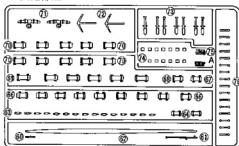
▼甲板部品



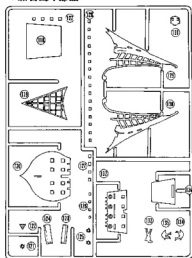
▼マスト部品



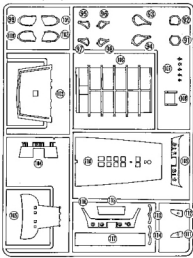
▼大砲部品×2



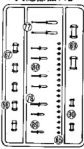
▼船首飾り部品



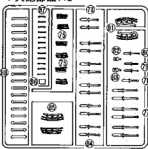
▼船尾飾り部品



▼大砲部品×2



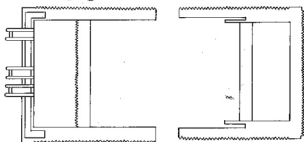
▼大砲部品×2



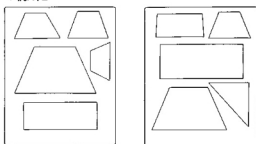
▼飾り台



▼糸巻き用ゲージ a、b



▼帆A、B



品 名	
接着剤	×1
旗	×1 転写マーク×1
ホワイトボンド	×1
チェーン	×1
ロープNo.1	×1
ロープNo.2	×1
ロープNo.5	×1

※船体各部の製作は、必ずしも標準部品を使用する。
 帆は、1. 糊付けの作業は、必ずしも必要ではない。
 2. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 3. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 4. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 5. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 6. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 7. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 8. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 9. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。
 10. 旗の製作は、必ずしも必要ではない。

イマイの帆船ロープの結び方手引き

☆ここに取上げたロープの結び方は当社の帆船(木製・プラ製)すべてに応用できます。

イマイのロープ張り用具

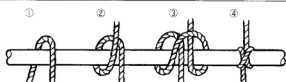
- 右の四つが帆船のロープ張りに必要な道具です。確実なロープ張りをするために必ずそろえてください。
- クリップはロープの張り止めに使えます。
- 瞬間接着剤はロープのゆるみをなくするために結びに必ず使うようにしてください。



ロープの結び方を結束といいます。帆船には沢山のロープがありこれらのロープは全部個々の名をもち別々の働きをします。したがって、ロープを結束する方法にも、その用途に応じて、「もやい結び」「帆げた結び」とか「鐘結び」など数えきれないほど沢山あります。ここに取上げた結束方法は実際の用途とは異なりますが、模型製作の上で、その作り易さと高い完成度を旨とするために次のような結び方をとりあげたものであります。

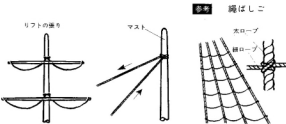
マスト、ヤードの結び方(巻結び)

- マスト・ヤードの結び等あらゆるところに使われる最も基本的な方法。
- 右図のように結びものを対しての字をかくようにして結びます。



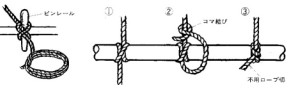
巻結びの例

- 1本のロープを左右に分けてのびしたいときなどによく使います。
- 右図のようなリフトの張りなどには最適な方法といえます。
- 右図のように太ロープと細ロープを使って網ぼしこを作ることもできます。



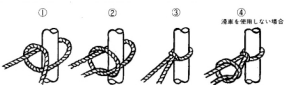
巻結びの例

- 結び方は、右図のようにピンレールにロープを止めるもときなどにも使うことができます。
- ロープ止め、平張り等に結ぶ方法として、右図のようにさらにコマ結びをするとうよみになります。コマ結びのかわりにミシン糸で結んでもけっこうです。



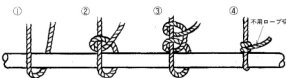
すごき結び

- この結び方もマスト・ヤード等いろいろに使うことができます。
- ローマの軍船などで滑車を働かずにロープ張りをするとき、この結び目を滑車のかわりにする場合があります。



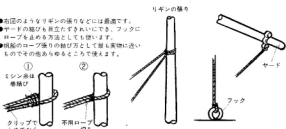
いかり結び

- 1本のロープの上めに使われる比較的よいような結び方です。



ミシン糸の利用

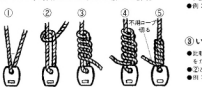
- 結び方は巻結びを使用
- この結び方は結び目が小さくきれいに仕上げることができるので、多くの場合で利用できます。
- クリップで止めておいて、ミシン糸で結んでください。



滑車のロープ付け

① ヒービングライン・ノットの使用

- イマイ独自の結び方で、大きな滑車に結び目を強調して、正実な感じをだすことができます。
- インテリア的な装束をもったカタロニア船などに使用。



② すごき結び

- ロープに対して滑車が小さいために、バランスが悪いときなどに使うとよい。
- かんたんに結び目が小さく、スマートに仕上げることができます。
- 例：ローマの軍船、サンタマリア号



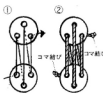
③ いかり結び

- 比較的大がらな古代船などの意外な感じをだしたいときなどに使うとよい。
- ②とは逆に滑車の大きなものを使う。
- 例：サンタマリア号、カタロニア船



三つ目滑車

- シェパードの見守塔のひとつで、後継らしきを強調する重要なもの。
- 古代船の場合は、大きな滑車にアンバランスな張り方をして三つ目に仕上げ、現代船の場合は逆にしっかりと正確に張るのがコツです。



④ ミシン糸の利用(巻結び)

- 最もスケールに近い本格的な結び方で、きれいにスマートに仕上げることができます。
- クリッパー型の現代帆船に使用するとよい結果が得られます。
- 例：1/100日本丸、1-80カチヤ・サーク号

